

輪島漆芸技術研修所 中期経営目標

(実施期間 令和5年度～令和9年度)

令和5年3月 策定

1 施設の設置目的

文化財保護法に指定された漆芸技術の伝承者養成や研究調査、資料収集等の事業を行うことを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

県内外から広く研修生を募集し、重要無形文化財保持者(人間国宝)の高度な指導などにより伝承者を養成しています。

また、研修生の研修材料として活用するために、漆芸の研究調査及び資料等の収集を行っています。

3 事業内容

(1) 伝承者養成事業

特別研修課程(2年制・専修科・定員10名)

高校卒業生などの漆芸未経験者を対象とした、基礎的技術習得を目指す課程です。卒業後はより高度な漆芸技術習得に向け、普通研修課程を受験し進学できる体制となっています。

普通研修課程(3年制・榛地科、髹漆科、蒔絵科、沈金科・定員各5名)

特別研修課程卒業生や美術系大学卒業生など、基礎的技術習得者を対象とした、専門的で高度な漆芸技術の修得を目指す課程です。

(2) 研究調査事業

研修生の技法の修得や創作意欲の啓発に役立てるため、漆芸に関する文献等の収集や重要文化財等を忠実に復元する作品制作などにより、優れた漆芸技術やデザインなどの研究調査を行っています。

4 現状と課題

(1) 伝承者養成のための取組み

研修は、人間国宝(9人)を始めとする充実した講師陣による高度な内容となっています。さらに、運営委員会(人間国宝、講師、学識経験者等で構成)の意見や研修生へのアンケートの結果を踏まえ、研修環境の向上に努めています。

また、研修所外で研修生に見識を深めてもらうために、県内研修旅行(年2回)及び県外研修旅行(年1回)を実施しています。県内研修旅行では金沢を中心に日本伝統工芸展等の展覧会で作品の鑑賞と他分野を含む人間国宝の講演に参加し、県外研修旅行では奈良国立博物館で開催される正倉院展見学等を行っています。

研修生は県内、県外の出身を問わず我が国の漆芸技術の伝承者として研修を行いこれらの取組みにより、卒業生の44%(R1~R3)が、漆関係の仕事に携わっており、そのうちの75%(R1~R3)が県内で就業しています。

また、これまでに展覧会での入選・入賞も多数輩出しています。(R3までの中央展入選者合計264名)

今後とも、質の高い研修を行い、県内外の優れた人材の育成に努めていきますが、一方で地場産業振興の充実のため、より多くの県内後継者の育成を図る必要があります。

(2) 研修生確保のための取組み

県内外の高校、美術系大学や美術館等の関連施設300ヶ所余りへの受験案内の送付やホームページの充実、前期修了作品展とオープンキャンパスの同時開催、高校・大学へ直接訪問し入学の勧誘を行っています。

更に、漆芸を学ぶ希望者の増につなげるために所内での研修生作品展のほか、「のと里山空港」「石川県政記念しいのき迎賓館」で研修成果の発表を行っています。

高度な漆芸技術の習得には、基礎技術の習得と幅広い技術経験、ものづくりに関する深い見識が必要です。特別研修課程は未経験者が基礎技術を習得し普通研修課程への入学資格を得る目的で設置されていますので、特別研修課程での研修の充実を図り卒業後に普通研修課程へ進学する意欲のある人材の確保と育成に努めています。

(3) 施設運営の効率化について

施設管理費については、随時施設管理の見直しを行いながら、経費の節減・効率化に努めています。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 研修生数を基準値にまで回復させます。
- ② 研修生アンケートによる満足度は毎年90%以上にできるよう努めます。

(2) 測定指標と目標値

| 測定指標 | 基準値 (H29～R1 平均) | 中間目標値 (R7) | 最終目標値 (R9) |
|------------------|--------------------|---------------|---------------|
| ① 研修生数 | 51人 | 40人 | 51人 |
| ② 研修生アンケートによる満足度 | 84% | 90% | 90% |

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 伝承者養成のための取組み

- ・優れた人材の育成に向け、今後とも、運営委員会の意見や研修生アンケートを参考にするとともに、新たに各分野のより専門的な講師を招聘するなどし、更なる研修内容の充実や研修環境の向上に努めます。

(2) 研修生確保の取組み

- ・多くの人に研修所や漆芸について理解してもらうため、研修所内(輪島)の他、しいのき迎賓館(金沢)など、これまで開催してきた研修生の作品展やオープンキャンパスの内容充実を図り、研修生確保に努めます。
- ・より多くの研修生を確保するため、県内高校の訪問学校数を増やすことによって、県内出身者の入学の勧誘を強化するほか、県外の美術系大学関係者に直接面談し、入学の勧誘に努めます。また、県内高校美術部を対象に漆芸作品鑑賞による研修所紹介を開催して、漆工芸の魅力を伝えることで、地場産業の発展につながる人材の育成に取り組みます。